

## 平成28年度アドバイザー派遣事業実施レポート

- 1 研究団体名 加藤先生に道徳を学ぶ会
- 2 研修テーマ 「考え、議論する道徳」への転換  
～よりよく生きるための基盤となる道徳性の育成～

本研究会は、平成27年度より河崎小学校を拠点校として、継続的に「テーマ発問による道徳の授業」についての授業研究会を実施している。今年度も「考える道徳」について学ぶことによって、児童一人一人の道徳的実践力を育成できる授業に向けて、指導力の向上を目指したいと考えた。

- 3 アドバイザー  
筑波大学附属小学校 教諭 加藤 宣行先生

加藤先生は、「深く考える道徳授業」の第一人者として、著書、メディア等で広く知られる存在として著名である。道徳授業の転換を図るために、教師の発問力の重要性を提唱し、自身も長年に渡り実践を続け、成果を上げておられる。本校児童との授業で練り広げられる発問の巧妙さやねらいの明確さを学び、今後の道徳授業への意識の変革をめざした。

### 4 研修の概要

日 時	平成28年9月16日（金）	13:50～16:50
場 所	米子市立河崎小学校（米子市河崎2677）	
日 程	13:50～14:35	公開授業 本校 5年1組 誠実・明朗 「手品師」
	15:00～16:50	講義・演習

### 5 研修の成果

授業参観並びに講義・演習を通して、「考え、議論する道徳」への意識転換ができた。表面的な読みから脱却し、深く考えなければ追求する価値に到達することのできない「問い」、すなわち「テーマ発問」について、理解を深めることができた。参加者全員で、講師から示唆いただいた発問の重要性を認識し、今後の授業改善への具体的な手立てを共有できたことで、大変に有意義な研修会になったと考える。

